

2016 年度事業計画

I 事業の実施方針

地域住民のニーズに合わせた学びの機会と社会的課題に応じた教育の場を兼ね合わせた「学びの場」を対象地域に展開していくことで、地域の中での仲間づくりとコミュニティづくりを支えていく。特に放課後学びスペースアシストと日本語教室だんらんを、地域の中でのコミュニティづくりの基軸として事業展開を強化するとともに、学際 IROHA プロジェクト、まな旅、スタディー旅、こころざし支縁プロジェクト、北野こども探検隊を通して事業全体を充実、発展させていく。さらにイベントとして、北野インフィオラータ、北野こくさい夏祭り、ハロウィン企画を実施する。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に関わる事業

(1) 放課後学びスペースアシスト

【定款における事業名】

青少年に対する学習支援事業

青少年に対する学習支援活動全般に携わるボランティアの育成事業

【内容】

学校でも家庭でもできない教育を、地域との連携の中で模索していく。

保護者との面談の強化を図り、アシストの理念と保護者のニーズとのすり合わせを進める。

また地域の地縁団体との連携を強化し、その地域の特徴や課題を把握した上で子どもたちとどのように学び合えるかを考えていく。

【経緯】

放課後の学習環境格差の是正と、子どもたちの居場所づくりや地域コミュニティ形成をテーマとした小・中・高校生向けの放課後学習支援教室として開室したが、保護者のニーズと地域課題を知るにつれて、子どもたちだけでなくより広い世代を巻き込んだ学びの場が必要だと考え、上記のような事業内容に変更した。

【目的】子どもたちの今と将来のための学びの場を提供する。

【今年度目標】 60人

【事業の対象者】 小・中・高校生

【実施場所】 甲子園

【実施日時】 2016年5月1日～2017年3月31日の月曜日 18時半～20時半

2016年4月1日～2017年3月31日の金曜日 18時半～20時半

【収入】 3,500円×人数(小学生) 5,500円×人数(中・高校生)

【支出】 307,280円

・部屋代 156,400円(月曜日:1回1,700円×4回×11ヵ月)

(金曜日:1回1,700円×4回×12ヵ月)

・交通費 150,880円(電車:月曜日:春日野道-甲子園 820円×4回×2人×11ヵ月)

(電車:金曜日:春日野道-甲子園 820円×4回×2人×12ヵ月)

【実施場所】 摩耶

【実施日時】 2016年4月1日～2017年3月31日の毎週木曜日 19時～21時

【収入】 5,500円×人数

【支出】 69,120円

- ・部屋代 0円
- ・交通費 69,120円（電車：春日野道-六甲 300円×4回×2人×12ヵ月、
バス：六甲-五毛天神 420円×4回×2人×12ヵ月）

【実施場所】 六甲

【実施日時】 2016年4月1日～2017年3月31日水曜日（個別） 15時半～17時半

2016年4月1日～2017年3月31日木曜日（個別） 16時半～17時半

2016年4月1日～2017年3月31日木曜日 18時半～20時半

【収入】 3,500×人数（小学生） 5,500円×人数（中・高校生）

【支出】 93,600円

- ・部屋代 36,000円（月3000円×12ヶ月）
- ・交通費 57,600円（電車：春日野道-六甲 300円×8回×2人×12ヵ月）

【実施場所】 魚崎

【実施日時】 2016年5月1日～2017年3月31日の毎週火曜日 16時～17時半

毎週金曜日 16時半～18時

【収入】 4,500円×人数（週1回） 7,500円×人数（週2回）

予算は単価4000円×のべ人数で計上。

【支出】 119,680円

- ・部屋代 52,800円（1回600円×週2回×4回×11ヵ月）
- ・交通費 66,880円（電車：春日野道-魚崎 380円×8回×2人×11ヵ月）

【実施場所】 学園都市

【実施日時】 2016年4月1日～2017年3月31日月曜日 18時半～20時半

2016年9月1日～2017年3月31日水曜日 18時半～20時半

【収入】 3,500円×人数（小学生） 5,500円×人数（中・高校生）

【支出】 242,160円

- ・年会費 2,000円
- ・部屋代 91,200円（月曜日：2時間 1,200円×4回×12ヵ月）
（水曜日：2時間 1,200円×4回×7ヵ月）
- ・交通費 148,960円（電車：月曜日：春日野道-学園都市 980円×4回×2人×12ヵ月）
（電車：水曜日 春日野道-学園都市 980円×4回×2人×7ヵ月）

【予算】

〈支出〉(単位：円)

	部屋代	交通費	合計
甲子園	156,400	150,880	307,280
摩耶	0	69,120	69,120
六甲	36,000	57,600	93,600
魚崎	52,800	66,880	119,680
学園都市	93,200 (うち年会費 2,000 円)	148,960	242,160
合計	338,400	493,440	831,840

〈収入〉(単位：円)

	生徒数(のべ人数)	合計
甲子園	中学生 77 人・高校生 12 人	489,500
摩耶	小学生 25 人・高校生 12 人	153,500
六甲	中学生 16 人・高校生 24 人	220,000
魚崎	小学生 132 人	528,000
学園都市	小学生 132 人・中学生 104 人	1,034,000
合計	小学生 223 人・中学生 197 人・高校生 48 人	2,128,000

(2) 学際 IROHA プロジェクト

【定款における事業名】

社会問題・国際問題について理解を深めるための大人を対象とした学習会事業

【内容】

参加者それぞれが学びの分野を越えて学際的に学び合うことで、自らを見つめ直し、新しい取り組みを生み出すきっかけを作り出す学習会。

【経緯】

様々な分野で活動する人々が、自らの活動がどのような社会的問題から生み出されているのか、その根源を学び、また自らの活動がどのような意味を持ち、どのような社会的影響を及ぼすのかを多角的に捉えるために、分野を越えた学び合いをすることとなった。

【目的】

地域でともに学び合うコミュニティ形成とそこから具体的な社会的問題の解決に向けた、活動発足の場。

【今年度目標】 各回参加者 20 人

【事業の対象者】 地域住民

【実施場所】 三宮、十三

【実施日時】 年 4 回 (夏季、秋季、冬季、春季)

【収入】 40000 円 (参加費 500 円×20 人×4 回)

【支出】 40000 円 (場所代 1 回 10000 円×4 回)

(3) まな旅

【定款における事業名】

社会問題・国際問題について理解を深めるための大人を対象とした学習会事業

【内容】

平和記念公園・資料館巡り・広島女学院の生徒さんによる碑巡り及び広島の文化に触れるツアー

【経緯】

外国人にとって、ただ観光として広島を訪れるだけではなく、戦争のこと、核のこと、平和のことについて学べる機会としたいと考えた

【目的】

広島での平和学習を通して、日本人と外国人がそれぞれの思いや考えを積極的に交換する

【今年度目標】 参加者 10 人

【事業の対象者】 外国人・日本人

【実施場所】 広島県

【実施日時】 7 月末

【収入】【支出】 0 円（参加費：本人の実費負担）

(4) 日本語教室だんらん

【定款における事業名】

日本語非母語話者への日本語学習支援事業

【内容】

会話中心の日本語学習支援教室。実際に日本語を使ってコミュニケーションを図りながら学べる場を提供する。

【経緯】

地域の定住外国人と地域住民との接点が不足しているという社会的課題の解決のため、日本語非母語話者の日本でのコミュニティづくりと社会参画を目的として、コミュニケーション中心の授業形式を行ってきた。

また、文法学習を通じて、より日本語コミュニケーション学習への理解を向上させることも同時に行う。

【目的】

日本語非母語話者が日本語の勉強を楽しみながら地域とのつながりをつくる。

また、日本語母語話者である地域住民が日本語非母語話者の日本語学習者への歩み寄りをはかる。

【今年度目標】 20 人

【事業の対象者】 日本語非母語話者

【実施場所】 三宮

【実施日時】 火曜日 18 時半～20 時半

水曜日 18 時半～20 時半

【収入】 360,000 円（授業料：前期 500 円×10 人×4 回×6 ヶ月、後期 500 円×20 人×4 回×6 ヶ月）

【支出】 57,600 円

・交通費 57,600 円（電車：春日野道～三宮 300 円×8 回×2 人×12 ヶ月）

(5) スタディ旅

【定款における事業名】

海外の貧困地域における教育環境整備のための支援事業

【内容】

現地に赴き地域の実情を把握しながら、日本において行える支援を模索する。

【経緯】

地域の課題を解決する過程で、いかに国際的視点を取り込むかを考える際に、海外での実情を目の当たりにすることで、日本での活動内容をより一層深めたいと考えた。

【目的】

海外で実際に行われている支援事業に触れる

【今年度目標】 参加者 10 人

【事業の対象者】 国際問題に取り組む学生・社会人

【実施場所】 海外の貧困地域

【実施日時】 年 0～1 回（8 月実施予定）

【収入】【支出】 0 円（参加費：本人の実費負担）

(6) こころざし支縁プロジェクト

【定款における事業名】

国内生産者のモノ作りにおける社会的価値創出活動の振興事業

【内容】

国内におけるモノ作りと現在における社会的問題との関わり方を考える。

【経緯】

社会的マイノリティと関連性のあるモノづくりの現場を理解することで、社会の問題そのもの考え、結果として現在の社会において必要なものを浮かび上がらせる為、勉強会を実施することとなった。

【目的】

国内におけるモノ作りを通しての社会的支援の実態を探る。

【今年度目標】 各回参加者 20 人

【事業の対象者】 社会的課題解決に従事する人、あるいはその対象者

【実施場所】 不定

【実施日時】 年 2 回（秋季、春季）

【収入】 20000 円（参加費 500 円×20 人×2 回）

【支出】 20000 円（場所代 1 回 10000 円×2 回）

(7) 北野こども探検隊

【定款における事業名】

地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業

【内容】

レクリエーションを通じて、学生と子どもたちが交流し、新しい発見や学びを共にする。

【経緯】

前年度において単発イベントを実施したところ、地域から継続的な実施を求められた。さらなる地域の子どもやコミュニティとのつながりを深めるため、実施することを決めた。

【目的】

学生が地域の子どもと交流できる場を創出。

交流を通じて共に楽しみ、安心していつでも行きたくなる場を目指す。

【今年度目標】 各回参加者 20 人

【事業の対象者】小学生

【実施場所】北野

【実施日時】6月1回 7月以降月2回 土曜日

【収入】190,000円 1回500円×20人×19回

【支出】49,400円

場所代 38,000円 1回2,000円×19回

交通費 11,400円（電車：春日野道－三宮300円×2人×19回）

(8)北野インフィオラータ

【定款における事業名】

地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業

【内容】

地域のこどもたちと新聞紙を使った工作をする。

【経緯】

北野こども探検隊事業の一環としてイベントに参加させてもらうこととなった。

【目的】

北野こども探検隊の認知度向上と地域コミュニティとの関係性構築。

【今年度目標】20人

【事業の対象者】小学生

【実施場所】北野坂

【実施日時】4月29日金曜日、30日土曜日

【収入】0円

【支出】0円

(9)北野こくさい夏祭り

【定款における事業名】

地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業

【内容】

子供向けのブースを出店し、地域の子どもたちとの交流をはかる。

【経緯】

前年度の実施をふまえて、今年度もイベント参加を決めた。

【目的】

イベントを通して、実行委員会をはじめとする地域の方々との連携し、お祭りの後も共により良い町づくりのために協働できる関係作りをしていく。

【今年度目標】200人

【事業の対象者】小学生

【実施場所】北野

【実施日時】夏季

【収入】40000円（参加費200円×20人）

【支出】10000円（ブース出店料6000円+諸経費4000円）

(10)ハロウィン企画

【定款における事業名】

地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業

【内容】

地域のお店に協力してもらい、ハロウィンのイベントを通して、子どもたちが街の中を探検する。

【経緯】

地域のお店との協力関係の強化をはかるため、イベントを行うこととなった。

【目的】

子どもたちに異文化を体験してもらおう。

【今年度目標】 20人

【事業の対象者】 小学生

【実施場所】 元町

【実施日時】 10月31日

【収入】 6000円（参加費300円×20人）

【支出】 6000円（諸経費）